

研究機関名：東北大学

受付番号： 2016-1-153
研究課題名 卵巣癌の進展に関わるタンパク質発現の研究
実施責任者（所属部局・分野等・職名・氏名）： 東北大学病院・産婦人科・講師・豊島 将文
研究期間 西暦 2016 年 7 月（倫理委員会承認後）～ 2021 年 7 月
対象材料
■過去に採取され保存されている人体から取得した試料 ■病理材料（対象臓器名：卵巣） □生検材料（対象臓器名： ） □血液材料 □遊離細胞 □その他（ ）
■研究に用いる情報 ■カルテ情報 □アンケート □その他（ ）
対象材料の採取期間：西暦 2006 年 1 月～西暦 2015 年 12 月
対象材料の詳細情報・数量等： （対象疾患名や数量等の詳細を記すこと。多施設共同研究の場合は、全体数及び本学での数量等を記すこと。）
手術後の病理組織検査で卵巣癌と診断された 100 例を予定している
研究の目的、意義
<p>卵巣癌は先進国における婦人科悪性腫瘍のうち最も死亡数の高い疾患である。しかし、癌の進展に関わる腫瘍増殖や播種転移に関する分子機序は十分に解明されていない。</p> <p>c-MYC は癌の進展に関わる分子であり、多くの癌種で c-MYC 過剰発現や遺伝子増幅が認められる。実際に卵巣癌においても約 20-30% のケースにおいて、遺伝子が増幅されている。c-MYC は正常組織にも発現する重要な転写因子であり、それ自体を治療標的にすることは難しい。合成致死作用は、単独の異常では細胞は致死とならないが、2 つの異常が同時に生じると致死となることである。この原理を用いて、c-MYC に依存した癌進展機序を明らかにする。そこで我々は、大規模 siRNA スクリーニング（siRNA：21-23 塩基対から成る低分子二本鎖 RNA で、配列特異的に遺伝子の発現を抑制する）により 7000 遺伝子の中から、卵巣癌細胞株において c-MYC と合成致死作用を持つ標的分子として furin を同定し、c-MYC 高発現卵巣癌では腫瘍増殖に furin が関連していることを示した。</p> <p>一方、我々は細胞および動物モデルにおいて癌進展を抑える分子の探索を行った結果、セラミド合成酵素などの脂質代謝酵素が播種転移・癌進展を抑える分子であることを見出した。</p> <p>本研究では、卵巣癌手術検体を用いて c-MYC・furin、TGF-β（furin の基質）、notch（furin の基質）、脂質代謝酵素群のタンパク質・mRNA の発現を解析し、予後との相関関係について検討を行う。さらに癌転移を制御するタンパク質を解析し、癌の進展を招く機構についても検討を行う。</p>
実施方法
東北大学病院産婦人科で行った手術により摘出され、病理診断用にホルマリン固定、パラフィン包埋処理された卵巣癌検体を用いて研究を行う。事前に、将来の研究への使用に関する包括同意が書面で得られている症例のみを対象とする。具体的に発現を検討するタンパク質として、現在我々が進めている卵巣癌に関する先行研究及び既往文献に基づき c-MYC、Furin、TGF- β 、notch、セラミド合成酵素群を予定している。タンパク質・mRNA の発現検討方法は、①免疫組織化学染色 ②Immunoblotting ③real-time PCR の 3 つを予定している。

研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手・閲覧方法

研究計画書及び研究の方法に関する資料は、入手又は閲覧可能である。ただし、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られる。

個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「本研究に関する問い合わせ・苦情等の窓口」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)>

①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合

②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。(※手数料が必要です。)

【東北大学病院個人情報保護方針】 <http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入しを情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。(※手数料が必要です。)

【東北大学情報公開室】 <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合

②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合

③法令に違反することとなる場合

本研究に関する問い合わせ・苦情等の窓口

東北大学医学部 産科学婦人科学教室 湊 純子

住所：仙台市青葉区星陵町 1-1

Tel：022-717-7251